

# 生きる力

## 第 26 号

平成 29 年 1 月 10 日  
 編集文責：中西秀幸  
 発行：(株)中西商会  
 〒745-0302  
 周南市鹿野上 3217 番地  
 TEL 0834(68)2106  
 FAX 0834(68)2103  
 日祝日はお休み  
 毎月 10 日発行予定

12月20日の自主防災ワークショップにて鹿野村の災害は大正14年ではなく13年だと判明しました。取材不足で誤りがございました。申し訳ございません。自主防災会議で資料として「生きる力」を活用して下さったおかげと感謝しています。今後は気を付けて参ります。

# 地域医療とまちづくり

12月4日(日)「地域医療とまちづくりを考える」に参加。自治医科大学の梶井英治先生、島根県雲南市のおつちラボの矢田明子先生の講演が最初にありました。その後、木村市長、博愛病院の有吉先生、山口県立総合医療センターの原田先生、長嶺市議会議員に講演されたお二人を加えて、やまなみ荘の藤本施設福祉課長の司会でシンポジウムが行われました。

公民館二階講堂が満員の中、梶井先生が地域医療とは、住民の健康問題のみならず、生活の質にも注目しながら、住民一人ひとりに寄り添って支援する医療活動。そのキーワードは「みんなで」「お互いさま」「ありがとう」だそうです。徳島県牟岐町の住民参加による医師が住みたい環境づくり、茨木県筑西市の地域住民や行政や専門家

などが共同体なつて進められた減塩による健康づくりなどの事例紹介がありました。健康度の三要素は、体力体調などの身体、生きがいなどの精神、友人の有無や社会参加などの社会的なもので総合的なものです。だから、病気があるから健康度が低いとは言えない。

また、地域力とは地域が一丸となつて地域課題を解決し、暮らし良い地域を創っていく力。その力は住民同士の付合い、信頼、社会参加で向上し、隣人関係の希薄化、コミュニティの崩壊で低下する。

終りに地域医療づくりはまちづくりそのものだと言われました。

次に登壇された矢田先生は、地域医療づくりをスーパーマンに頼ると長続きしない。難しいことをしなくても良い。何をやっても地域医療づくりに参加することにな

る。自分が得意なこと、できることをみんなでもやり始めることが大切だとその活動体験から語られ、その実践報告もされました。

シンポジウムでは、長嶺市議会議員が鹿野には地域医療の資源もありモデル地域になれる、子や孫に後を託せるようなゴールを描いて進めていきたい、木村市長からはもやいネットや自分らしい暮らしを最後までスマートライフチャレンジについて、有吉先生は在宅医療の難しさについて、原田先生からは診療所医師不足について、梶井先生からは今後の詳細な絵を書いて欲しい、人、物、金ひとり一人の中に眠っているものを引き出す事が大事、できる事をすぐに実行する、日々良かった事を探し思考を前向きにして一日一日を過して欲しいと語られました。

### 「道友」紹介みやさき中央新聞からの転載

#### 日本ふるさと塾主催 萩原茂裕

長野県の野沢温泉村で第15回インタースキーの大会が開かれました。世界35か国からスキーの指導者たちがやって来ます。その開会式で村長がこんなあいさつをしました。

「ようこそ野沢へお越しいただきました。そして立派な建物があるわけではありませんが、日本一自慢できるものがあります。それは村の人の心です。その心を十分に満喫してお帰りください」

私はそれを聞いたとき、正直「ちょっと言い過ぎじゃないか」と思いました。

大会会長さんも同じことを思われたようで、閉会式では「開会式で村長さんが言われたことは本当でした。各国の選手団から、『この村の人から温かいおもてなしを受けて嬉しかった』という声をたくさん耳にしました」とおっしゃっていました。

私も野沢温泉村に惚れこんでしまった1人です。何年前か前のお正月のことでした。私は家内とこの村のスキー場に向かいました。

歩きながら家内が私に、「村役場はどこでしょうねえ？」と聞いたんです。

するとすぐ前を歩いていたおばあちゃんがその言葉を聞いて振り返り、「私がご案内しましょうか？」と云ってくださったんです。

よその町でこんなことありますか？ほとんどはみんな知らん顔ですよ。

ではなぜこの村ではこういう心づかいができるのでしょうか。答えは簡単です。「スキー場をみんなで作ったから」です。だからスキーに来るお客さんを全部「私のお客さん」と思えるのです。

やがてスキー場に着きました。この年、全国的に

雪不足だったのですが、野沢にだけドサツと雪が降りました。ですからとりわけお客さんが多くて、待ち時間が2時間半もありました。そこで私たちはお店に食料を買いに行くことにしました。お店の主人に、「あんパンか何かありませんか？」と聞きました。その主人の応対が見事でした。「せつかくお越しいただいたのに申し訳ありません！うちはパン類は扱っていないんです」

そしてすかさずこう言いました。「でもお客さん、一軒置いて隣のお店でサンドイッチを作っておりますが、そちらでいかがでしょうか」

そう言われて、私は「はい、そうですか」とは言えませんでした。何でもいいからここで買ってあげたいと思いました。そうしたらこのご主人が、「時間がありませんでしたらあべかわ餅でも作りましょうか？」と言ってきたのです。すごいと思いました。

10分くらいして、私はあべかわ餅を受け取り、お礼を言ってお店の外へ出ました。

お店を出るとすぐ「お客さん！と呼ばれました。振り返ると、先ほどのご主人でした。

「何人で召し上がるんですか？」と聞かれたので「4人です」と言うと、「ビニール袋を四つ持ってやってきました。そして「お客さん、お餅だけでは後口が悪いのでしょうからこれとごぞ」と野沢菜を付け足してくれました。

皆様方はこの話をどのようにお聞きになられるでしょうか。私はこの話をしながら、「恐ろしいことだなあ」と思っているんですよ。

なぜなら、私は野沢温泉村から宣伝費を1銭ももらった覚えはないんです。でも頼まれなくても、全国各地で野沢温泉村の宣伝をしているんです。ついほめてあげたくなるんですね。これが人情なんじゃないでしょうか。

### 鹿野を美しくする会

12月はせせらぎパーク女子トイレ掃除をしました。電球をつけ忘れ持ち帰ってしまった、妻とお出かけの途中、再び立寄りしました。掃除したトイレを妻が見て「いいじゃない」とほめてくれました。

1月は本町公園のトイレ掃除を「日本を美しくする会」方式で22日(日曜日)8時より2時間の予定で掃除します。長靴を履いてご参加下さい。お待ちしております！

### 地域イベントご紹介

#### ●鬼のお面づくりとお茶べり会

- ・場所 中西商会
- ・日程 1月21日(土)
- ・時間 10時~12時
- ・参加費 100円

#### ●自主防災ワークショップ

- ・場所 コアプラザかの2階
  - ・日程 1月26日(火)
  - ・時間 18時から
  - ・議題 具体的な取組みについて
- 第4回 アドバイザーは幸坂美彦氏。どなたでも参加できます。